

小田川市政がスタート!

新市長が語るつくばみらい市の未来!



[市長プロフィール]

小田川 浩 (おだかわ ひろし)
昭和42年1月23日生まれ (51歳)
つくばみらい市福原出身

■経歴

昭和54年に三島小学校、昭和57年3月に伊奈中学校を卒業、昭和60年3月に県立藤代高校卒業後、会社員を経て会社役員に。平成24年に市議会議員初当選し、平成28年に市議会議員2期当選。現在、明治大学公共政策大学院に在学しまちづくりを学ぶ。

趣味は身体を動かすことで、ゴルフや野球をはじめとしたスポーツ全般が好き。好きな言葉は「ガバナンスは市民の中にある」。

つくばみらい市長選挙に初当選し、5月14日に初登庁を迎えた小田川市長に、今後のまちづくりへの思いを語っていただきました。

—はじめに、今回の選挙では多くの市民の皆さんからの支持を集め初当選されました。今の気持ちをお聞かせください。

小田川市長 このたび、非常にたくさんの市民の皆さんからご支援をいただいたことに対し、あらためて、深く感謝申し上げます。また、市長就任の喜びを感じると同時に、責任の重さに身が引き締まる思いです。これからも常に初心を忘れず、市民の皆さんの声を聴きながら、市政を行っていきたくと思っています。

—これからつくばみらい市の市政運営のかじ取りを任せられたわけですが、まちづくりの基本的な考え方をお聞かせください。

小田川市長 私の姿勢としては、まずは現場に出向き、そこで市民の皆さんの話を伺うことが大切だと思っています。現地に行き、しっかりと状況を把握して、地域の抱える問題点をきちんと見ていきたい。地域に密着した市政運営をしていきたいと思っています。都市部だけでなく

農村部も含めた新しいつくばみらい市のかたちというものを、これからつくっていきたくと思っています。

—小田川市長の考える、つくばみらい市の魅力はなんだと思いますか。

小田川市長 「可能性」だと思います。つくばみらい市は、まだまだ変わることができる、発展していくポテンシャルを秘めた素晴らしいまちです。地域ごとの特色を生かし、市の新たな魅力を引き出していけたら良いと思っています。

—最後に市民の皆さんにメッセージをお願いします。

小田川市長 市民の皆さんのため、つくばみらい市のために誠心誠意、力を尽くして働いてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



初登庁で支持者から花束を受け取る小田川市長